

各農業改良普及センター所長様  
各農業協同組合長（営農担当者）様  
各農業関係機関長・団体長様

京都府病虫害防除所長  
（公印省略）

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

## 発生予察特殊報第1号

**病虫害名**     **ダイズ子実汚斑病 (yeast-spot disease)**

**作物名**        **ダイズ(黒大豆)**

**病原菌**        ***Eremothecium coryli* (Peglion) Kurtzman**

### 1 発生確認の経過等

- (1) 平成17年11月に京都府亀岡市の農業総合研究所内のほ場から採取されたダイズ（品種 紫ずきん）のカメムシ類による被害粒の子実内部から、汚白色に変色したもののや周辺に壊死を伴うものがみられ（図1）、被害部位からは、紡錘形でむち状の付属糸をもつ子のう胞子（図2）と、円形または楕円形で出芽を認める酵母様微生物（図3）が確認された。
- (2) 分離された酵母様微生物は、京都府農業総合研究所により、*Eremothecium coryli*（Peglion）Kurtzman と同定された。
- (3) 本菌は海外では、ダイズに「yeast-spot disease」を起こす病原菌としての報告はあるが、日本では未記録であった。接種試験及び本菌を分離したカメムシ類被害粒の症状は、海外で報告されている「yeast-spot disease」の病徴記載と一致し、日本においてyeast-spot diseaseの発生を確認した。
- (4) 本菌によるダイズの病名をダイズ子実汚斑病と呼ぶことが提唱され、平成19年12月に日本植物病名目録追録に記録された。

### 2 病徴及び病原菌の諸性質等

- (1) ダイズ子実の種皮に裂皮を生じ、子実が奇形になったり陥没する。また、子葉の部分が汚白色に変色し、周辺部に壊死斑を伴うことがある（図4、図5）。
- (2) 子実汚斑病菌は、子のう酵母の一種で、子のうは両端が丸みのある円筒形、またはやや変形し、紡錘形で一端にむち状の付属物を有する子のう胞子を生じる。
- (3) 本菌は海外では、カメムシが媒介することが報告されているため、平成18年7月～10月にかけて京丹波町、南丹市及び亀岡市の黒大豆並びに普通大豆ほ場で捕獲したアオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、プチヒゲカメムシ及びホソヘリカメムシについて保菌状況を調査したところ、いずれのカメムシも保菌していた。このことから、本菌は、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、プチヒゲカメムシ及びホソヘ

リカメムシにより媒介されることが示唆された。

### 3 防除方法

本菌に対する登録薬剤はないが、カメムシ類による感染を阻止または軽減することによりダイズ子実汚斑病の発生は軽減されると考えられる。

### 引用文献

木村重光(2007) *Eremothecium coryli*によるダイズ子実汚斑病(新称). 日植病報73 : 283-288

木村重光・徳丸 晋・菊地淳志(2008) ホソヘリカメムシ、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシおよびブチヒゲカメムシによるダイズ子実汚斑病(仮称)病原菌 *Eremothecium coryli* の保菌および媒介. 応動昆52 : 13-18



図1 カメムシの吸汁による被害粒の子実内部

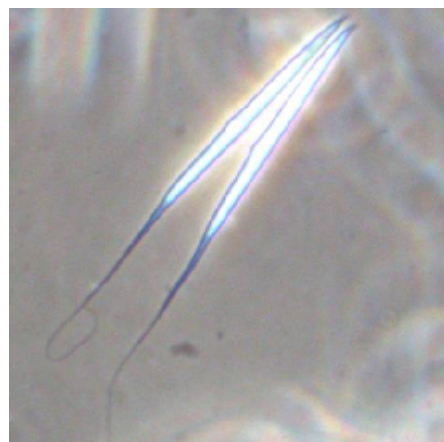


図2 本菌の子のう胞子



図3 本菌の酵母体



図4 本菌に罹病したダイズ子実(子葉の壊死斑)



図5 本菌に罹病したダイズ子実(子葉の白色部)

(写真はいずれも京都府農業総合研究所環境部木村氏提供)